

活動番号



まるごと！南越前町発信倶楽部

吉原 詩織

■活動内容

【目的】

《対南越前町》

南越前町の魅力を発信し、「認知度の向上」「町のファン(関係人口)を増やす」「移住促進」を行う。

《対学生(筆者)》

企画立案力及び事業実行力とコミュニケーション能力を醸成する。

【実施内容】

- ①二週間程度、南越前町の「流動創生」拠点に滞在し、**魅力創出**
- ②南越前町をフィールドワークの場とした調査研究で、「南越前町住民」兼「本事業参加学生」対象に、**魅力創出**
- ③SNS(Note)で、来町したことない人に**魅力発信**
- ④周遊冊子作製、配布で、観光客に**魅力発信**

■町との関わり

【来町期間】**2020年10月17日(土)~10月31日(土)**

【来訪場所】**流動創生、農園、今庄宿、河野など**

【質的調査対象者】**農家さん、移住者の方、地域おこし協力隊の方**

【アンケート分析対象者】**「まちみらいチャレンジ」参加学生17名、住民3名**

【地域で関わった方】**流動創生、高野由平商店、吉五商店、今庄D51直売所、PIZZERIAROSSO、GENOME、ORION BAKE、一ノ瀬山荘、農家、地域住民など(敬称略、順不同)**

【町との関わり】**公民館主催グラウンドゴルフ大会に参加、農業手伝い、特産品「吊るし柿」加工手伝い、社会福祉士、役場へインタビュー、「福井新聞」のインタビュー取材、地元カフェ手伝い、「はなもも」植樹手伝い、草刈り手伝い、そば打ち、きびだんごづくり体験、街歩き、観光地視察、地元住民とご飯会(複数回)、地元学生とドライブ、サイクリング など**

■情報発信

《SNSで南越前町の魅力発信》

(内容)**リモート授業を受けながらのワーケーション経験の発信**

(反応)**閲覧302人、いいね80件(2021年2月5日時点)**

《大学の研究報告会》

(内容)**南越前町をフィールドワークの場とした調査研究**

(反応)同大学のフィールドワークとの比較をすとなお興味深いと好評。

《周遊冊子作製、配布》

(内容)**同町の飲食店ら6店舗紹介を冊子にまとめ、協力店に配布。(作成は13冊)**

(反応)飲食店らから喜ばれ、お店の周遊コーナーに冊子設置される。

■成果(変化)

(活動前後の自分自身の変化)

地域の「ソト」の力が地域の魅力創出のためにはカギになる。

(活動を通して気付いた点)

これからはどんな場所においても、**自分の学びたい場所で、学びたいことを学べる時代になると**気づいた。そして、**自分の状況を自分で考えていかに創り出せるのか、によって人生が変わる時代になると**考えた。

(活動(経験)をその後どう活かすか)

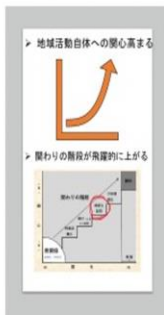
シビックプライドの関係人口について深掘りしたい。

(今後の町との関わり方(想定))

コロナウイルス感染拡大が落ち着いたのち、また南越前町に来町し、周遊冊子の影響がどうだったか検証、また、大学の研究フィールドワークとして活用したい。



大変お世話になりました！



関係人口としての参加学生アンケート

【南越前町での地域活動への関心】
参加以前：2.82⇒参加後：3.35
【地域活動自体への関心】
3.06⇒3.35

【移住の段階性】
参加以前：無関係が約6割⇒居住者⇒頻繁訪問⇒二地域居住
参加以後：頻繁訪問が約5割⇒特産物購入



また来ます…

